

世界初、8K HEVC 映像デコード処理を1チップで実現

[横浜発、2016年3月23日]

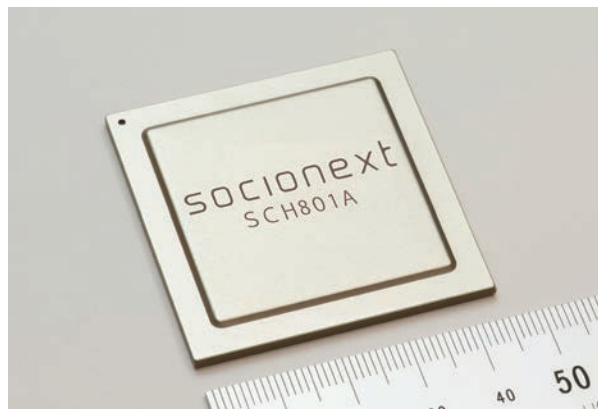
株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は日本放送協会 (NHK) との共同研究にて、HEVC 符号化方式に対応した 8K 映像のデコードを 1 チップで処理可能な LSI「SCH801A」を世界で初めて開発し、サンプル品によるデコード動作の確認に成功しました。「SCH801A」の製品出荷は 2016 年 11 月を予定しており、テレビメーカーは本製品を既存のデジタルテレビ用 SoC と組み合わせることで 8K テレビ受像機を短期間で容易に開発することが可能になります。

「8K」は、現在普及しているフルハイビジョン(2K)の 16 倍にあたる約 3300 万画素の超高精細映像を意味します。日本では衛星放送による 8K 放送の試験放送が 2016 年に、また実用放送が 2018 年に開始される予定であり、臨場感あふれる映像による全く新しい視聴体験の普及に期待が寄せられています。

デジタルテレビ受像機に必要な機能の一つに圧縮して配信される映像信号のデコード(復号)があります。圧倒的な高解像度で高精細な 8K 映像のデコード処理には高度な処理が必要であり、これまでは複数の高性能プロセッサによる並列処理が必要とされてきました。このため 8K テレビの本格的な普及のためには低消費電力かつ高速で安定したデコード処理の実現が求められていました。

今回開発した「SCH801A」は超高精細度テレビジョン衛星放送の映像符号化方式 (ARIB STD-B32 第 1 部の HEVC 符号化方式)に対応した 8K、60p、1 チャンネルでのデコードを 1 チップで可能にするもので、外部インターフェースには PCI Express Gen2 を 1 レーン、HDMI 2.0-Tx を 4 チャンネル搭載します。今回、試験用ストリームデータを用い、8K デコード処理の動作を確認しました。これにより、8K テレビの実用化と早期の普及に大きく貢献するものと期待しています。「SCH801A」は 2016 年 11 月の量産出荷開始を予定しています。

また、当社は 2016 年 4 月 18 日から 21 日まで米国ラスベガスで開催される世界最大の放送機器展「NAB SHOW」にて、「SCH801A」を用いた 8K 映像デコード動作を展示する予定です。



写真：SCH801A

[クリックで拡大](#)

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社ソシオネクスト 経営企画室

電話: 045-568-1006

お問い合わせフォーム: <http://socionext.com/jp/contact/>

当社は「SCH801A」による 8K 映像デコードに加え、受信復調や表示制御チップなど 8K テレビ受信に必要な機能をすべて提供予定しています。さらに、ネットワーク経由の映像配信やデジタルサイネージなど、テレビ以外への応用も視野に入れ、これらのサービス実現に必要なシステムの開発も進めており、8K 映像のトータルソリューションを業界に先駆けて提供していきます。

□ 本製品に関するお問い合わせ:

株式会社ソシオネクスト

お問い合わせフォーム: www.socionext.com/jp/contact

ソシオネクストについて

株式会社ソシオネクスト (Socionext Inc.) は、SoC (System-on-Chip) の設計・開発および販売を事業とする新しい企業です。映像・イメージングおよびネットワーク分野における世界トップレベルの技術を核に、今日のさまざまなアプリケーションの進化を支えます。長年培った技術力と経験、さらに豊富な IP ラインナップをベースに卓越したソリューションを提供し、人々の豊かな体験 = better quality of experience の実現に貢献します。2015 年に設立された株式会社ソシオネクストは横浜市に本社を置き、日本国内、アジア、米国およびヨーロッパの各拠点において製品開発および販売活動をグローバルに展開しています。詳しくは socionext.com/jp をご覧ください。

記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。プレスリリースに記載された内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。